

美しいアーチ橋

山間渓谷の地に開通したる

佛、伊間の國際鐵道

地中海に面し賭博場として世界に著名なる Monte Carlo に近く、又地中海の商業都市として有名なる佛領 Nice 及び伊領 Ventimiglia の兩市と伊領 Cuneo を連絡する鐵道こそは今より 28 年前、時の伊太利政府が萬難を排して建設すべく當事を督勵しつゝ計画したものであるが、本鐵道は其の通路に佛領を含まねばならなかつた爲に思ふ様に工事を進める事が叶はず、其の内に歐州戰亂の爲に其の

工事は一部（伊領内のもののみ）の完成に留つてゐた、然るに此の鐵道は單に伊太利に取つて重要であるのみならず、佛國に取つても商業上工業上極めて大切であるが爲に、佛國も又之を是なりとして其の未成部分の工事完成を戰役後急いで居た

昭和三年十月三十日即ち初の計畫より 28 年後、遂に此の大工事も全く終了を告げ、Breil 市に於いて佛伊西國の朝野の關係者を集めて、いこも盛大な開通式が行はれた。

本鐵道の工事費、其の他の技術上の詳細に就いては殘念年ら報告が未だ發表せられて居ないが兎も角も寫真でも見られる通り極めて難工事であつたらしい。Nice より Cuneo 間 76哩半、Breil より Ventimiglia 間は 13哩半で總計 90哩である。90哩の殆んど大半は山中に鐵路が敷設せられ、見上ぐるが如き斷崖を右に見れば、千仞の谷を左に見るが如き所を通過して居る。勾配は $\frac{1}{90}$ より $\frac{1}{45}$ 位で海拔

3500呎位の高さに達して居る。

本鐵道線路中には佛國第一の長「トンネル」（Col de Braus を貫くもの）を含んで居る。此は長さ約 3 哩 7 分で最初の $\frac{1}{2}$ だけは $\frac{1}{500}$ の傾斜で昇り海拔 1368呎の山嶺に達する。後の半分は $\frac{1}{111}$ の下り傾斜である。此の隧道工事は本工事中の最初の難所とも言ふ可き個所であつて土質が Calcium Sulphate であつた爲に非常に苦心を要したものである。

「アルプス」山脈を貫く是の隧道は英國海狹の下を貫く海底隧道と使命を同じうするものであるとまで言はれて來た、是の國際鐵道も遂に完成せられたのである。

(1) P. L. M. 鐵道の新 Nice—Coni (Cuneo) 線を示す圖



白木屋建築の工事關係者

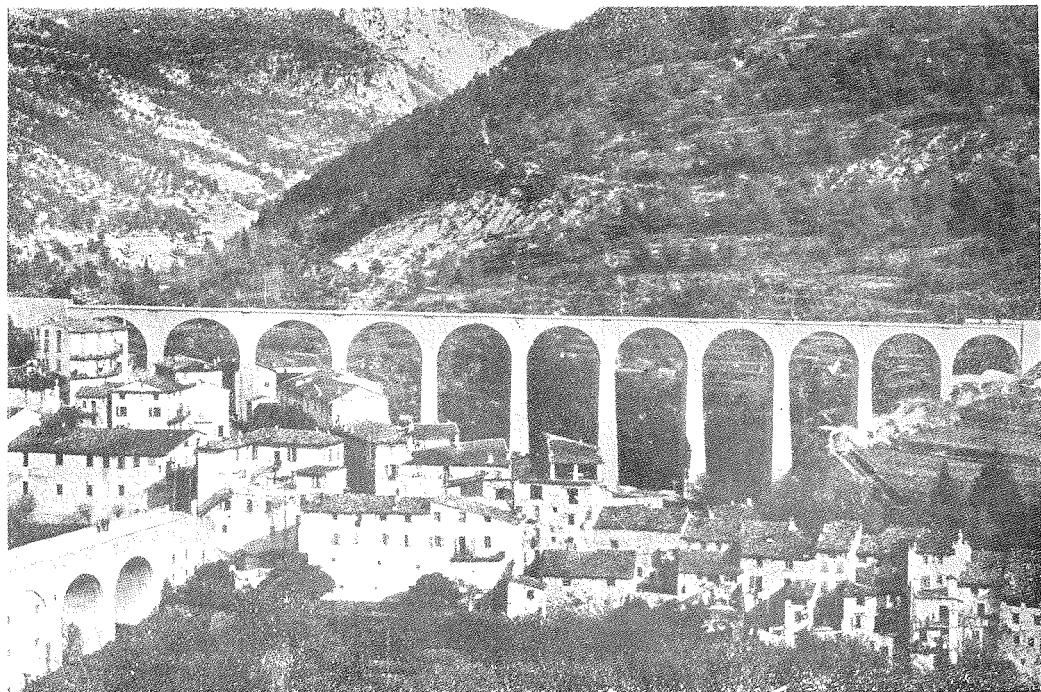
20頁よりつづく

製圖主任	岡村 蚁象
建築事務	高橋 啓夫
現場監督主任	兒玉廣太郎
請負者	合資會社 清水組
	第四部長 越山徹一
	第四副部長 山田耕作
	工事擔當者 富永長治
	現場主任 吉永修祿

佛伊間の国際鐵道



(2) Breil より Ventimiglia 間の幹線の一部



(3) L'Escarène 高架橋

佛伊間の國際鐵道



(4) Scarassoni 高架橋



(5) Bévera 橋（アーチ橋にて中央を支持せるを見るべし）